

かしま 議会だより



第100号

令和2年3月議会号

令和2年5月発行

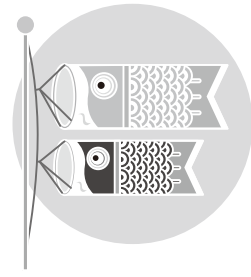
発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



咲き誇る桜 市庁舎前の桜と新市民会館建設予定地

3月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
新年度予算審査(抜粋)	P6～P10
新年度予算審査特別委員会審査報告	P11
議会報告会	P12～P15
意見書	P16
緊急質問	P17
行政視察報告	P18
議会あれこれ・編集後記	P19
議会だより100号に寄せて	P20





- 9日 新年度予算審査特別委員会
(建設環境部、水道事業)
- 10日 本会議(会期日程の一部変更)
・新年度予算審査特別委員会
(産業部、討論、採決)
- 11日 休会(議案整理)
- 12日 休会(議案整理)
- 13日 休会(議案整理)
- 14日 休会
- 15日 休会
- 16日 休会(議案整理)
- 17日 休会(議案整理)
- 18日 休会(議案整理)
- 19日 休会(議案整理)
- 20日 休会
- 21日 休会
- 22日 休会
- 23日 休会(議案整理)
- 24日 委員会審査報告
・議案審議、質疑、討論、採決
・閉会

- 鹿島市議会
令和2年3月定例会 会期日程
- 1、会期
自 令和2年2月20日
至 令和2年3月24日
- 2、日程
- 20日 開会
 - 会議録署名議員の指名
 - 会期の決定
 - 議案の一括上程(市長の提案理由説明)
 - 21日 休会(議案研究)
 - ・発言内容通告(締切(正午))
 - 22日 休会
 - 23日 休会
 - 24日 休会
 - 25日 休会(議案研究)
 - 26日 休会(議案研究)
 - 27日 議案審議、質疑、討論、採決
 - 28日 議案審議、質疑、委員会付託
 - 29日 休会
- 【3月】
- 1日 休会
 - 2日 休会(議案整理)
 - 3日 休会(議案整理)
 - 4日 新年度予算審査特別委員会
(開会、現地調査)
 - 5日 新年度予算審査特別委員会
(教育委員会、会計課ほか)
 - 6日 新年度予算審査特別委員会
(市民部及び総務部)
 - 7日 休会
 - 8日 休会

次のことを審議し決定しました

【3月定例会】

議案番号	議案内容	中村日出代	池田廣志	高松昭三	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松尾勝利	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果
議案第1号	令和2年度鹿島市一般会計予算について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第2号	令和2年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第3号	令和2年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第4号	令和2年度鹿島市給与管理特別会計予算について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第5号	令和2年度鹿島市水道事業会計予算について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第6号	令和2年度鹿島市下水道事業会計予算について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第7号	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第8号	鹿島市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第9号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第10号	令和元年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第11号	令和元年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第12号	令和元年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第13号	令和元年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第14号	令和元年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
意見書第1号	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済対策を求める意見書(案)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 ※・・・(監査委員のため審議に参加できない)

議案審議

議案第9号

職員の職務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について



中村 日出代 議員
質問一 宣誓書の内容は。

答弁 私は全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務の遂行に当たると宣誓し、署名して職員となる。

性職員から女性職員3名に對してセクハラ行為があり、減給処分にした。セクハラとは相手の意に反し性的言動によって働く環境が妨げられる行為をいう。この報道により鹿島市役所の信用は失墜している。二度とこのような事が無いよう厳しい監督を強く要請する。

松田 義太 議員
■防災重点ため池について
質問 鹿島市内に防災重点のため池は何カ所ある



のか。また、耐震化、漏水などを含め、今後の整備計画についてお伺いする。

その後、耐震調査、耐震工事と順次計画を立て実施していくことになる。

議案第10号

令和元年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



杉原 元博 議員
■浄化槽整備事業補助金について

質問一 浄化槽整備事業補助金3,718千円減額になっているが、当初

の見込みと実際に設置された世帯数は。

答弁 当初60基の設置を予定していたが、実際は53基という事で想定し減額した。

質問二 最近では建て売り等も増えているが、新築物件への補助はどうなっているのか。

答弁 法人には補助はしていない。従って、建て売り住宅については、分譲されて購入された方が人が設置の申請をしていただいたのを受けて、市が現地確認をして検査を行った後、補助という工程になる。

議案第10号

令和元年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



福井 正 議員
■土木費、道路維持費

質問一 市道新町・組地線(ハローワーク前)の狭い箇所改良について、

西牟田区と都市建設課との協議会において、水路に蓋をする設計についての予算計上で合意した。また、危険箇所の用地取得もすることになっていて、道路維持費に含まれているのか。

をする設計予算を補正予算に組み込んでいる。水路東側の交差点改良のための用地取得に関しては、新年度予算に組み込んでいる。

議案第10号

令和元年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



松尾 征子 議員
■5,500万円の補助金返還おかし

質問 学校改築事業に関する5,500万円の補助

助金返還はおかしい。ちゃんとした書類を作った県・国も認め通った補助金を鹿島市だけの返還はどういうことか。

答弁 返還金については、会計検査院のほうから佐賀県においては額確定の際の審査が不十分だった。市においては理解が十分でなかったというふう

指摘がなされている。交付金の申請から実績報告まで法に基づいて申請を行った。申請および交付金の受領者はあくまで鹿島市ということで鹿島市が返還することになった。

新年度予算大綱質疑

新年度予算大綱質疑



稲富 雅和 議員
■市長のトップセールスについて

質問 いろいろな課題はあるが、更に鹿島市を盛

り上げてもらうためには、行政のバックアップも今まで以上に必要。今こそ市長のトップセールスが大事だと思うが、市長の思いをお伺いする。

答弁 トップが個別の企業なり商店なりに行くと言うスタイルと、卸売市場とかに行くと言う両方あると思う。個別の企業

なりパイプから売り込みをする。卸売市場だといひ話を聞かせてくれるケースと悪い話を聞かせてくれるケースがあり、両方お付き合いしている。気を付けてほしいのは、市長がいったら高くなるなんて、そんな甘い話ではない事は知っていたきたい。

議案第12号

令和元年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について



伊東 茂 議員

質問 年度末補正で特定検診委託料が5,082千円減額されている。特定検診の対象者に受診し

て頂くことが病気の早期発見と早期治療に繋がり最終的には国保会計の軽減となる。受診率向上のため、担当課の努力は承知しているが、今後の更なる対応を問う。

答弁 国保の加入者は年間4,800人前後である。今回、特定検診対象者2,025人に案内を

出し受診をお願いしたが、1,400人に留まった。本市は病院での個別検診が多いことから、医師会へ受診を促すお伺いや、日曜受診など方策を取っている。今後も更なる努力を行う。

新年度予算大綱質疑

新年度予算大綱質疑



勝屋 弘貞 議員

■市債残高について
質問 市民会館建設もあり、新年度当初予算は150億円強。それに伴い

市債残高がピーク時より10億円少ない128億円となる。許容範囲内で大丈夫とのことだが、次の大きな課題として鹿島駅周辺整備がある。改めて市長の見解を問う。

答弁 前市政では市民の皆さんが随分と我慢し、不満がたまっていたのは。以前、コンクリート

も人も言ったことがあるが、今後7次総合計画をどう進めていくのか、まち・ひと・しごとの戦略も並行して、一体どのくらいの投資ができるのかを議論する1年となると思う。

議案審議

新年度予算審査

危険な通学路の点検について



中村 日出代議員

質問一 横田のセブンイレブン前の歩道に雨天時、雨水が溜まり避けて車道に出て危険であり、改善を申請していたが。

答弁 土木事務所に確認したところ、雨水が溜まる2カ所を削溝して補修が完了しているとの連絡を受けている。



横田・セブンイレブン前の歩道



高津原・観覧堤北西の変形5差路

質問二 高津原の変形5差路について交渉は進んでいるのか。

答弁 交渉については、所有者と5月ごろに話し合いをすることになっている。電柱については、この電柱が重要な役割をしているが移設の交渉をしている。

中川公園の遊具の整備について



池田 廣志議員

質問一 新年度の公園管理委託料2,447万7千円の内、遊具は何を整備するのか。また、周辺では宅地開発が進み、若い夫婦が中川公園の遊具に期待されている。しかし、大人の目が行き届



中川公園の遊具

き難い場所があり、今後の都市公園の整備計画はどうなるのか。
答弁 令和2年度は、都市公園維持のための管理と中川公園のプランコ取り替え工事を計上している。また、明倫校区に遊具のある都市公園は中川公園のみのため、もう一箇所ぐらいの増設を含めて、今後の整備計画を都市計画マスタープランの中で検討していく。

新年度予算審査(一般会計)について



杉原 元博議員

■教育委員会(生涯学習課)

質問一 蟻尾山公園整備事業に1,650万円となっているが、どんな整備をするのか。

答弁 第3種公認事業として、レイン部分の改修を行う分と、下水道用の量水器を設置するための費用となっている。

質問二 陸上競技場用品購入費が1,510万円とあるが、何を購入するのか。

答弁 フィールド競技の円盤、ハンマー、砲丸、ハードルなどの備品になる。今の規格に合わなかったり、老朽化したりと、県の陸協が点検に来られ、変えるように指示があった。これも第3種公認に向けた金額・予算になる。

■産業部(商工観光課)
質問一 かしまビジネスサポートセンター設置・運営業務委託で毎年1,000万円計上されている。今年度の相談件数と起案件数は。
答弁 令和元年度の相談件数は622件、事業者数は262社。起案件数は把握している分で5件。金融機関からの紹介や商工会議所に相談に来られた分を含めるともう少し多い。

質問二 創業支援等事業交付金が200万円計上されているが、交付金の対象や条件は。
答弁 市内で創業、事業継続をされた方を対象とした奨励措置。それと創業の際、金融機関から融資を受けられた方への利子補給制度も含め、計上している。

中山間地直接支払い交付金について



樋口 作二議員

質問一 予算の削減理由と中山間地農業の展望について伺いたい。

答弁 今後5年間の農業動向をアンケート方式で調査し、高齢化等も踏まえ、面積では一割減で予算を組んでいる。今までは一つでも荒らせば全て返金という厳しさがあつたが、今回はできなかった分については返金し、他の部分については交付金になっている。

危険な空き家等除去事業補助金について

質問一 市内の危険な空き家対策としての審議会設置は進んでいるのか。
答弁 危険家屋対策は、部署がまたがっているのので、来年度組織の見直し



道路に面した危険家屋

と国の法律に基づいた協議会の設置、計画の策定に向けた協議を重ねていきたい。

質問二 危険な空き家に対する課税や家屋管理に対するの通告は行われているのか。

答弁 課税については、危険な家屋や空き家についても納税管理人に通知し、納税をお願いしている。行政で危険な空き家を解体して費用を求め行政代執行については、個人の資産なので慎重な判断が必要だが、関係部署で連携を取り合いながら検討していきたい。

令和2年度鹿島市般会計予算について



中村 和典議員

質問一 鹿島市社会福祉協議会へ9事業が委託されている。本来、行政がすべき事業を丸投げのようない感じがするが。

答弁 社協へ生活困窮者自立支援事業及び生活支援体制整備事業の大きな事業をお願いしている。社協の立ち位置として、地域と一番密接に関わっている。フットワークが良い、民生委員さんや地域住民との連携がよく特

段問題もない。市も一緒になって協力し、地域住民のために事業を行っている。
質問二 平成28年度から令和3年度までの継続事業として実施されている県営柳瀬頭首工(堰)改修工事が現在中止されている理由は。



柳瀬頭首工

答弁 現在の堰の下流に新たに建設する計画であったが、周辺の井戸調査を行ったところ、河川(塩田川)を掘削することにより、井戸への影響(枯渇など)が懸念されることから、堰の移設は行わずに現在の堰のコンクリート部を補強・補修する工法に変更して本年10月から工事を再開する予定である。県工事負担金1,760万円は、令和2年度に繰り越す。

小中学校給食費について



中村 一堯議員

質問一 4月から小中学校の給食費が200円値上がりする。昨年度は材料費の上昇で若干運営が赤字となったようだが、今回の給食費値上げを生徒保護者にどのように理解してもらうのか。また、昨年度の3月にお預かりした給食費を在校生や卒業生たちにどのように返還または調整していくのか。

答弁 3月のコロナウイルスの影響で学校給食が提供できなかったため、小学一年生、小学二年生は新学期になった後5月くらいで給食費を減額調整する。卒業した中学三年生には給食費を返還する。給食費の値上げについては議会で説明した資料をお配りし、ご理解を

質問一 コロナウイルスが鹿島市内の産業にどのような影響を与えているか。また、今後の対策は。
答弁 市主催のイベント、催しなどについては中止や現在は延期で対応し、感染を拡大させないことを最優先にしている。不透明なのが、市民経済活動や生活への影響である。ただ、鹿島市の問題だけでなく、日本全世界レベルでの影響があるので、対策については国を挙げて取り組む必要がある。鹿島市でも様々なところに影響が出てきていて、現在調査している。今後は中小企業の経営支援や個人への休業補償、資金繰り支援など経済対策を国や県とともに取り組む。

コロナウイルスが与える産業への影響について

お願いしている。

新年度予算審査

新年度予算審査

新年度予算審査特別委員会



稲富 雅和議員

■総務部
質問一 市内循環バス、乗り合い型タクシーは需要がある様に見直しが必要。北鹿島、能古見、浜、七浦、古枝地区で十分利用が出来る様に再度検討が必要。運転免許証自主返納に対する助成金の内容は。

答弁 市内75歳以上の方を対象として、自主的に免許証を返納された場合に祐徳バス、再耕庵タクシー両方で使えるチケットを助成。100円チケット40枚綴り、8,000円を2冊助成。平成30年11月より進めていて、102名の申請者となっている。

■産業部
質問二 企業誘致のための候補地選定の件で令和

2年度は予算がついていないが現状と今後について本当に候補地がどうなっているのか、選定できるものなのかお聞きする。

答弁 新工場団地については今年度調査費を計上し、現在最後の詰めの仕事に入ったところで、具体的には平成20年度に候補地として精査したが、4カ所プラス新たに6カ所の候補地を造成費用、分譲費用などを含めたところで概算で積算しており、その後農地法や森林法などの法規制、開発行為の有無などの条件を勘案して2、3カ所に絞って更なる精査をしていきたい。



質問二 明倫小学校の放課後児童クラブ新築について。建設予定地と規模は。体育館と音楽室の3クラブ分全てということか。

答弁 学校敷地内に音楽室を活用分と体育館分2



勝屋 弘貞議員

■明倫小学校について
質問一 明倫小学校の大規模改修について。直接子供たちの教育環境に関係する教室棟の方からやるべきではないかと思うが、管理棟を先にやる理由は。下水道への接続は。

答弁 教室棟からと提案をしたが、学校側から備品が多いので管理棟からの要望があった。下水道接続も改修に合わせ進め、災害避難時に活用できるマンホールトイレの設置についても前向きに検討する。



質問二 英語検定の受験率は、西部、東部中学校あわせて何%ぐらいか。また、本市の補助制度と近隣市町の補助制度はどうなっているか。

答弁 両中学校で今年度受験者が155名。中学生が767名で受験率は20%。合格率は64%である。受験料は、準2級が4,900円、3級が3,900円、4級が2,600円、5級が2,000円となっている。本市は英検に500円の補助を行っているが、近隣の嬉野市、武雄市、太良町、白石町は補助はやっていない。

新年度予算審査特別委員会

クラブの内1クラブ分の2クラブ分を新築する。建設地については明倫小と綿密に協議の上、進めていく。

■JR肥前鹿島駅前周辺整備について
質問三 今後の予定は。
答弁 ゴーニング・事業内容等は令和2年度と令和3年度で。令和4年度に基本計画を策定し具体的な内容について検討する予定。令和5年度以降に基本設計と実施設計を行って、事業着手に向けて進みたい。令和4年度の経営上下分離後に県と直接具体的な協議を進める。

新年度予算審査特別委員会



伊東 茂議員

■教育委員会
質問一 特別支援の事業に1,810万4千円の予算が付けられている。特別支援を要する児童が増えているのは承知しているが基準が分からない。保護者は中学卒業までは友達とおなじクラスで授業を受けさせたいと願っている。判定基準について問う。

答弁 専門家を入れた就学指導委員会が行う。知的についてはWISC(ウィスク)という検査で70点を基準として判断する。

■産業部
質問二 コロナウイルス感染症に関し、給食納入業者、飲食店、市内及び門前商店街など様々な商業者に売上げ減少による運転資金繰りの悪化の相談を受けている。商工会を通じ商工会員に向けて影響の緊急調査を封書による文書で出すことを要望し開示を求める。
答弁 3月9日現在で80店舗のヒアリング、聞き取り調査を行っている。しかし、個別に見てみると相当な影響が考えられ、更なる調査を行いたい。(3月1日付けで商工会議所会員770事業所に影響に関する調査文書を送付された)

新年度予算審査

令和2年度鹿島市般会計予算について



松尾 勝利議員

ふるさと納税寄附金の活用について

質問一 令和2年度は寄附金の活用事業に2億円を超える額が計上されている。内容を見ると、これまでやってきた事業にも予算付けされているように思う。これまで市民からの要望が多かった事業や、予算的にもできなかった事業に取り組んでもらいたいが、どうか。

答弁 ふるさと納税を使うときの基準は、毎年要る経常経費には充てない。寄附者の趣旨に沿って、市の実施計画等に計上された事業の中から新規事業や魅力ある事業を取り上げ実施している。今後更なる寄附をいただけるよう事業を精査する。



防災マップの配布と情報の周知について

質問二 新たに鹿島市の防災マップが作成され、市民に配布されることになっていく。災害はその種類や地域によって市民の対応が異なると思う。防災に対する意識を高めてもらうために、それぞれの地区に出向いて内容を詳しく説明すべきではないか。

答弁 防災マップは4月いっぱい、遅くとも5月に市民の皆さんに配布したい。防災に対する支援を積極的にやってもらいたいとのことであるので、防災の考え方を周知徹底していくように、要請がもつと積極的に出向いて防災の意識啓発に努めていく。

休校した後の対策英検の補助金について



徳村 博紀議員

質問一 コロナウィルスで2週間程度学校が休みになる。年度末でこのような形になると、毎年初めの4月、夏休みにこの2週間分の授業を調整されると思うが、その辺の予定というのは考えているか。

答弁 今のところ、16日から学校が再開できればと考えているが、出てこられたとしても3月も残り少ないので、教育課程の残りが出てくると思う。中学3年生は多分卒業式で終わっていると思うが、他の学年については、学習していない部分や次の学年で学習するようにお願いをしていきたいと考えている。夏休みを代替にするかはまだ検討していない。

教職員の変形労働時間制度を導入すべきでない



松尾 征子議員

質問一 教師の多忙化。100時間を超える人もいるということ、改善を求めてきたが、今回国が変形労働時間制を導入することを決めた。これにより問題が解決どころか、かえって労働強化になると反対の声があがっている。鹿島市はどの様にするのか。各自治体の判断で決めることになる。導入すべきではない。

答弁 導入かどうかについては、各個々の先生の実情というところも出てくる。言われるように、これをしたから軽減になることはないと思う。制度が有効かどうかまだ勉強しなければならない。

消費税増税、コロナによる納税の対応を

質問一 元年10月から消費税10%へ増税、その後コロナ発生。鹿島でも経済的な影響を受けている人が増えている。2年度の納税は大変な事になると思う。すでに飲食店関係はじめ学校が休業になり、食材の納入業者も大打撃の状況。市として減税等納税に対する対応を取り組むこと。

答弁 現在、国の方の対応ということで幾つか出て来ている。市の対応ということでは、おっしゃるような形で、まだ見当もつかないというか、そんな状況にあることは間違いない。いま出来ることは、相談を受け、分納、減免という形での対応になると思う。

新年度予算審査特別委員会 審査報告書

令和2年2月28日の本会議において付託されました下記6議案については、3月4日に現地調査、並びに同月5日、6日、9日及び10日に質疑審査を行いました。

審査の結果は、下記全議案について、原案のとおり可決すべきものと決しました。以上、会議規則第98条の規定により報告します。

記

- ・議案第 1号 令和2年度鹿島市一般会計予算について
- ・議案第 2号 令和2年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
- ・議案第 3号 令和2年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
- ・議案第 4号 令和2年度鹿島市給与管理特別会計予算について
- ・議案第 5号 令和2年度鹿島市水道事業会計予算について
- ・議案第 6号 令和2年度鹿島市下水道事業会計予算について



現地視察(3月4日)



質疑・審査(3月5日)

令和2年度鹿島市下水道事業会計予算について



福井 正議員

質問一 令和2年度から下水道会計が公営企業会計に移行した。公営企業であれば、利益が出る事業であるべきと思う。国から建設について二分の一補助と一般会計の繰り入れである。黒字決算には、下水道接続率向上が必要と思う。現在の下水道使用料の累進性から、定額制にしたら接続率が増え、企業会計に寄与すると思うがどうか。

答弁 下水道料は、生活



マンホールトイレ



に要する使用料を安く設定し、大口需要者ほど単価が高くなる累進性が多くの自治体で採用されている。公営企業会計を採用することで、より経営状況を把握できることから、使用料における累進制の在り方については今後検討したい。

令和2年度予算 反対討論

松尾 征子 議員

消費税増税、失業、温暖化、さらにコロナ問題で市民の暮らしは深刻な事態にある。「令和2年度施政方針及び市長の提案理由」には、市民の深刻な姿は見えない。そればかりか、冒頭、市民が無駄だという、9年も続けられている「スポーツ合宿」が語られている。無駄なものには組織人員4人に支出される同和団体補助金297万2千円。行財政運営は市民の暮らしを守るために「公平・公正」でなくてはならない。今回の予算で市民は安心出来るものではない。事業、予算を見直し、無駄なものは削り、「市民が安心出来る予算」に、早急に組みかえること。

令和2年度予算 賛成討論

松尾 勝利 議員

一般会計当初予算は、156億1,900万円の大型予算となっている。新市民会館建設事業が増額の要因となっているが、これは鹿島市民が待ち望んでいた事業であり、堅実な進捗を望む。また、JR肥前鹿島駅舎改築、駅前広場整備事業や国道498号の高規格道路検討事業が予算化された。これらは鹿島市のまちづくりをどう進めるのか大事な案件であり、慎重かつ迅速に進めてもらいたい。財政状況の厳しいなか施策に取り組みまれるが、これからの計画的な財政運営にも努めていただくよう望み、賛成討論とする。

長期に欠席した議員の議員報酬減額について(お知らせ)

鹿島市議会では、鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の制定により、議員が長期欠席した場合、その報酬を下記のとおり減額支給することになっております。

減額後の支給割合

・90日を超え180日以下	20%減額
・180日を超え365日以下	30%減額
・365日を超える	50%減額

平成29年11月1日施行



- ⑧(参加者)潮見表をみるが、潮止まりについて教えてください。
(市議会)潮止まりが、満潮からだいたい1時間後。
- ⑨(参加者)視察研修は公費を使われて行くのだから、鹿島市でどういう問題があるのか目的をもって結論導きをもって視察をしてほしい。一般市民に分かるように報告されているのか。
(市議会)議会だよりで行政視察について掲載している。
- ⑩(参加者)知人が高津原に新築した。鹿島市は補助金無し、近隣の市町村は補助金がある。また、近くの保育園に申込みをしたが受け入れできない事だったので、ほかの保育園に行っている。
(市議会)鹿島市では補助金はありません。議会としても(補助金、保育園について)調査をさせていただきます。何らかの形で報告ができればと考えております。
- ⑪(参加者)西峰団地はいつまで存続か。存続ならフェンスを設置してほしい。
(市議会)西峰団地がいつまで存続かはわからない。存続の場合はフェンスの要求をしていきたい。

【第二部】これからの鹿島市の課題について、参加者の意見・質問・説明等

1. 新鹿島市民会館(仮称)建設

- ①(参加者)昨年、市民会館について3つほどお願いしたいことが取り入れてもらいたい。
(市議会)今後も市民の皆さんの意見を聞きながら議会として対応していけたらと考えております。

2. 鹿島市の防災対策

- ①(参加者)温暖化により今後も災害が発生すると考えられる。ほかの県の堤防の決壊135カ所について民間の団体の見解は、土の堤防のため決壊したといわれている。土の堤防の補強を県土木事務所と知事に要望を議会にお願いしたい。
(市議会)行政側より盛土の決壊対策の工事を進めていくと説明があっている。今後も議会として要望をしていかなければならない。川底泥のたまり具合については下流に流れていくように対策を要望していきたい。
- ②(参加者)大雨になれば中牟田、西牟田のポンプは壊れるだろう。避難はかたらい(ピオ)にと、でも浸かるのではないか。昨年大雨時、各地区公民館へ避難指示があったが、ほかの地区の方が避難してきていいかと尋ねられた。避難場所に指定されている所は前浸かったと。そういうことは市の方がもっと把握してもらわないと困る。
(市議会)議会として行政側に伝えたことは、総会などで具体的に地域の皆さんと話をさせていただきます。市の職員も自主防災組織の中の一員です。われわれ議員も地区の皆さんと共有していきたい。
- ③(参加者)かたらい(ピオ)が停電したら水が使えない。地下ポンプからくみ上げて使っている。緊急時ポンプを使えなかったらトイレは使用できない。地下のポンプに水が入らないように対策をお願いしたい。
(市議会)財政が厳しいため、発電機・簡易トイレなど対応できる範囲で対処していくと回答をもらっている。

3. その他市民の声

- ①(参加者)限界集落がきている。高齢者も増え、小さい町であつても法面が崩れたりして危険、できればバイパス内側に用地をどうにかできないか。バイパス沿いには商店を、安心して暮らせるまちづくりを。
(市議会)バイパス沿いの商店は再三市長の方へ提案している。コンパクトシティ構想(中心部にたくさんの方を集めて生活をする)は今後、国が提案。
- ②(参加者)農業研修100人ほど来ている。近隣の市町村ではアパートを借り、国 県の補助金を受けハウス栽培をされている。例えば農地付きの空き家に入ってもらい農業研修をできないか。
(市議会)空き家対策も取り組んで受け入れ態勢もできている。鹿島市の方でもトマト栽培で独り立ちをしている。旧浅浦分校でも(一般の方だが)農業をしに来た大学生を中心に受け入れる体制を整えられている。

※14-15ページにアンケートを掲載しています。

**市民と議会の意見交換会
『第10回議会報告会』報告**



日時: 令和2年1月29日(水) 19:00~21:00
場所: 鹿島市生涯学習センター2階 エイブルホール
出席者: 議員15人、市民92人

今回の議会報告会は、鹿島市生涯学習センターのエイブルホールで開催しました。議会側から参加者の皆さんに、第一部「鹿島市議会 今期の活動報告について」、第二部「これからの鹿島市の課題について」という議題で説明後意見交換をしました。

- 1、新鹿島市民会館(仮称)建設
- 2、鹿島市の防災対策

の2点に関して市議会から説明を行いました。参加された市民の皆さまからは、貴重なご意見、ご要望をいただきました。

【第一部】今期の活動報告について、参加者の意見・質問・説明等

- ①(参加者)市内循環バスの利用者数は何人か。
(市議会)1台当たり平均2.7人利用。
- ②(参加者)市内循環バスは明倫・高津原校区を主に走っている。走っていない地区があるので、車をコンパクトにして、7~8人乗用で台数を増やしてほしい。
(市議会)走っていないところは、乗り合いタクシーの利用がある。委員会としては、ほかの地区も要求していく。
- ③(参加者)鹿島バイパスはいつ開通か。正月期間は渋滞して困っている。3月までには工事が終わるのか。
(市議会)鹿島バイパスは、令和元年度3月までに工事終了予定であるが、高津原の一部が地盤振動等の理由でできていない。予算はついているので要望していきたい。
- ④(参加者)特別委員会で駅前広場(日田市・延岡市)視察に行かれているが、人口規模が違うのに意味があるのか。
(市議会)日田市の人口規模は、鹿島市とさほど変わらない。延岡市は大きな市であるが、どちらも人が集まるような空間づくりをされていたので、そこを参考に視察を行ってきた。
- ⑤(参加者)鹿島駅の駐車場は狭い。日田市の人口は同じくらいだが、日田市はにぎやか、参考になるのか。
(市議会)人口規模の同じところだけでは参考にしにくい。同じくらいの人口で新しい駅舎がなかなかできていないので選択肢が限られてくる。何を目的とするかというところで「人が集まるような空間づくり」を参考に視察をしてきた。今後、市民のみなさんの意見を聞きながら提案をしていく。
- ⑥(参加者)現状調査、新幹線が開通後を想定した調査が行われているのか。
今後、まちづくりについても駅前を考えていかなければいけないのではないかと。
(市議会)鹿島駅の利用者数は、年間 鹿島駅46万人・浜駅1.7万人・七浦駅6.3万人・飯田駅1.6万人である。現在運行数53本が減ってくるが、朝夕通勤通学には支障がないようするため太良町と共に要求していく。駅前の送迎車につて何とかしなければいけない。駅前についても国道県道も絡めて開発をしていかなければいけない。
- ⑦(参加者)堤防の標高表示で北公園5.6m、北鹿島5.4m、下流6.2m、上流6.1mで表示。ポンプ可動4.8m止まるようにしてあるが、内水判断を含めてもう少し余裕を持った対応をお願いしたい。
(市議会)堤防内側の浚渫等と堤防のかさ上げを議会として要望していく。短時間水位の上昇については、議会と鹿島市と一緒に対応していきたい。氾濫危険水位の観点から、堤防高工事のための多額の予算が必要になるため、市だけではなく県にも要望していかなければならない。

令和2年1月29日開催

50代 鹿島	街灯の設置依頼。夜間歩行時、車止めに気付かず転倒の恐れがある。(区間 鹿島橋～207号乙丸歩道橋)
	ボランティア育成講座は、支援センターで実施されているが今一步先に進めない現状なのでお力添えください。
	良い議会報告でした。質問(回答)わかりやすく良かった。
	参加が少ない。休日の開催だったら若い人の声を聴けたのではないか。市民会館、防災については、わかりやすかった。
70代 鹿島	報告事項は、前もって知らせて質疑ができる体制づくりを。各地区区長会にも出向き、交流をしてほしい。 ①西峰団地はあと何年住めますか。 ②鹿島市内に住居を建てた場合補助金は？ ③幼児が望める保育園は？
	生の質疑応答が聞いて良かった。
	一般市民の参加者が少ないのが残念。開催日、広報車で呼びかけてもらったら出席者も増えるのでは。内容、説明も普段聞けない事がわかり良かった。
	テーマを決めて提案したほうが良いのでは。
	どうすれば参加者が増えるのか、議会も自身も考えなければいけない。人口を増やすことを考えてください。
70代 能古見	能古見(浅浦地区)の避難場所について、大雨時、黒川と中川を渡って行かなければならず、途中が危険である。地区公民館もかけ崩れの危険区域になっている。 同じ目線での話し合いが出来るような開催が良いのでは
70代 古枝	報告、説明後、質問、要望等に対する回答が不十分である。問題に対する認識の欠如、勉強不足を感じる。活動目的、成果、ビジョンが5W1Hで明確に説明できる努力が求められる。行政と議会の区別が不明瞭である。鹿島市の将来展望が語られる議会人となってほしい。
70代 北鹿島	行政と議会の働きかけが一緒になっていて、議員の話がわかりにくい。
70代 浜町	鹿島市にも災害対策本部が設置されているが、市議会側の対策会議が設置されることになるようですが、市の本部設置では、議会側の組織はどの位置になるのか。本部の中に執行部と議会部の指揮命令系統が2つできる様な型にならぬようにください。場合によっては、執行部の方が動きにくくならぬように。
70代 市外	具体的に回答をしてほしい。定住促進のために何をするか。事前に質問を取得し回答を準備、回答者を決めておくのも一つの方法。
80代 鹿島	質問者の話が長い。(具体的ではない)対応(議員)も明確な答えになっていない。

第10回 議会報告会アンケート ご意見

	良い議会報告でした。質問(回答)わかりやすく良かった。
50代 鹿島	報告会の進め方は、良かった。 市への陳情とまじっている感もあるが、一つの情報収集の方法ともいえる。地区を分ければ、集まりやすいし、細かな情報も集まるメリットもある。
50代 北鹿島	いつも質問される方は同じような方々の印象。様々な意見を頂戴するためには、報告会のやり方を検討する必要がある。
	質疑応答の時間を長くしてほしい。
60代 鹿島	①参加者が高齢の男性が多い。女性の参加しやすい場所、機会をつくってほしい。委員会それぞれの対象者との意見交換会は実施されているようだが、委員会1名ずつグループを組んで、出前議会報告会をしてほしい。(子育て支援センターなどで行うなどしていいのではないか。) ②視察内容だけでなく、報告を自らの口で具体的に説明してほしい。(議会に提言、成果、反省なども聞きたい)議会だよりだけではなく、一年生議員の話も聞きたい。 ③今後も市民の代表として、議会報告会での意見を市政に反映させてほしい。
	鹿島市の将来のビジョンを聴けると思ったが残念です。新幹線が開通することで特急が減り年寄りの利用はますます悪くなり、陸の孤島になる。本気になってどのような町を作っていくのか。老人の街になっても、若い人も住みやすい街でなければ、人口が減る。議員さんだけではどうにもならないと思うが、道路の整備としても有明沿岸道路は鹿島市まで通るのか。白石でストップという噂もある。高速道路に通じる整備は？
60代 能古見	①質問が細かかったり、執行部に対しての質問だったりして、議員さんは大変だったと思う。執行部と議会の対立軸をはっきりさせたほうが良い。 ②人口減少、少子化、都市計画など、執行部と議会の活発な議論を期待している。 一か所での開催されたことで、各地区の意見を聞き、大変有意義だった。活動報告が、もう少し詳細に書いてほしい。 報告会で意見を、要望に対して確実にお願いしたい。
60代 古枝	次年度は、広報活動(市民への伝達方法)に力を入れてほしい。 区長と議員の関係。議員の答えに疑問を持つ。旧鹿島村に対しては議員の答えが多く、鹿島市全体に対する答えが少ない。
60代 北鹿島	ポンプ場の稼働状況について、具体的な見直しはないのか。避難場所及び避難経路等の具体的な行動計画の必要を要望する。災害が発生した場合災害チャート通り対応できるのか疑問。現場での対応についての問題ですが、区対応はそれぞれ執行部が一期毎に交替するが、その状況及び本当に引き継ぎができるのか。 議員活動の中でもっとPRすべき。区長会中心のみなのか。

緊急質問 (令和2年3月24日実施)

市民への新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの対策と今後の取り組みについて

- (1)これまでの市の対策状況について
- (2)市内医療機関の対応状況について
 - ・発症が疑われる自覚症状を感じた市民の相談窓口はどこなのか。
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、市場で感染防止対策用品が調達できない状況を踏まえ、マスクや消毒液を県が必要な施設に提供することにより、医療福祉施設等における感染防止を図るとして、佐賀県は令和元年度補正予算を約3,700万円、令和2年度補正予算を2億4,400万円計上されている。市内の医療機関、介護施設、障がい者施設、保育所等の実態把握及び適切な配布(供給)に努めてもらいたい。
- (3)中小事業所の経営支援策について
 - ・市内の飲食店を始め多くの店舗で売上が激減している状況で、市は経済対策をどのように考えているのか。
- (4)個人への休業等の補償について
 - ・店舗の一時休業やそれに伴う解雇、内定取り消し等が発生した場合などを想定し、市役所内に総合相談窓口を設置して、迅速で的確な対応をとってほしい。
- (5)市民への周知の方法について
 - ・各家庭に設置している情報伝達システムを最大限に利用し、市民に必要な多くの情報を提供してほしい。

令和2年3月定例会 一般質問の取り止めについて(お知らせ)

今年1月から、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大が続いており、3月には佐賀県内においても感染者が確認されたところです。

鹿島市議会では、このような状況を受け、市民の安全、安心の確保を第一に考え、市の執行部が新型コロナウイルス感染症対策や関連業務に専念できるよう、3月定例会で3月16日から3日間予定しておりました一般質問を取り止めました。

一般質問は、議員が市の執行部に対し行政の現状や将来の方針について説明を求め、疑問をただす貴重な機会であり、市議会としても取り止めは苦渋の決断となりましたが、感染拡大防止のためには早急な対応が必要と判断した次第です。

なお、今後とも市民の皆様の声が行政に反映されるよう、議員一同さらなる議会活動の充実に努めてまいりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



意見書第1号

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う 経済対策を求める意見書

本年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認され全国各地に拡大する中、2月27日以降政府からは、感染拡大を抑制するため、全国の学校等の臨時休校を始め、多数の人が集まるイベントや集会等の自粛などが要請されています。

さらに、佐賀県では3月13日に初めて感染者が確認され、新型コロナウイルス感染症に対する市民の不安が一層増している状況にあります。

このような状況の中、鹿島市内でも予定されていたほとんどのイベントや会合等が自粛され、市内の飲食業、サービス業、小売業及び観光業などの事業者においては、急激に売り上げが減少し、経営環境が悪化しており極めて深刻な状況にあります。

国においては、現在、融資等のさまざまな経済対策を表明されていますが、これらの融資等に留まらず、さらに踏み込んだ直接効果の高い経営支援策を、また、減少した個人所得を直接補填するなどの救済策を下記のとおり強く要望します。

記

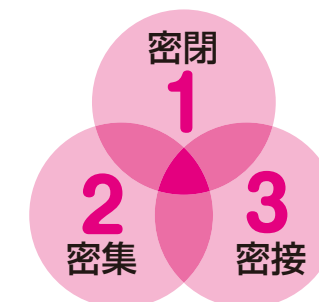
- ・事業者への緊急的な経営支援について
中小事業者の売り上げの減少に対する支援は、これまでに公表されている融資支援制度等に留まらず、緊急的で直接効果の高い損失補填、無利子での長期返済融資及び国税等の減免の支援策を講じること。
- ・個人の所得補填について
新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず休業し、個人の収入が大幅に減少した場合、正規、非正規、パート及びアルバイト等を問わず、すべてに対し、減少する個人所得を直接補填するなどの救済策を講じること。
- ・地方自治体等が行う各種対策への財政支援について
地域経済への影響を踏まえた対策を実施するとともに、地方自治体や医療機関が行う各種対策に要した費用などに対する十分な財政措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年3月24日

佐賀県鹿島市議会

3つの“密”を避けましょう



議会あれこれ

(令和2年1月~3月)

1月

- 7日 佐賀県市議会議長会
- 8日 正副議長 新年あいさつ回り
- 9日 議会だより編集委員会
- 14日 議会報告会プロジェクト会議
- 17日 議会だより編集委員会
- 21日 全員協議会
公共交通対策特別委員協議会
議会報告会リハーサル
- 22日~24日 議会運営委員会行政視察
- 28日 九州市議会議長会 理事会
- 29日 全員協議会
第10回 議会報告会

2月

- 5日 全国市議会議長会 評議員会
- 6日 第3回 地方創生E X P O
- 7日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 13日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会2月定例会
全国広域連携市議会協議会 総会
- 14日 杵藤地区広域市町村圏組合議会 事前勉強会
- 18日 議会運営委員会
- 20日 3月定例会 開会 議案の上程(~3月24日)
全員協議会
- 21日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会 開会
- 25日 西部広域環境組合議会2月定例会
- 27日 議会運営委員会
全員協議会
3月定例会 議案審議 質疑、討論、採決
- 28日 3月定例会 議案審議 質疑、委員会付託
議会運営委員会

3月

- 2日 文教厚生産業委員協議会
公共交通対策特別委員協議会
- 4日 議会運営委員会
新年度予算審査特別委員会 (~3月10日)

3月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 全員協議会
- 10日 3月定例会 本会議
新年度予算審査特別委員会 討論、採決
ICT活用推進プロジェクト会議
- 18日 文教厚生産業委員協議会
議会運営委員会
- 23日 全員協議会
- 24日 全員協議会
3月定例会 委員会報告、質疑、討論、採決 閉会
全員協議会
公共交通対策特別委員協議会
- 26日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会 閉会
- 30日 議会だより編集委員会

行政視察受入状況

(令和2年1月~3月)

1月22日 静岡県伊東市議会 10名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	1	5,000	0	0	1	5,000
会費	3	18,000	2	9,000	0	0	5	27,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	18,000	3	14,000	0	0	6	32,000

編集後記

発刊100号目となった、「議会だより」。約4半世紀その時々において、市民の皆様は議会をより近く感じて頂きたく努力してきたのだからなと思いつつ、古いものから順に読み返してみました。

継続は力なり。はじめは何の成果がなくても、コツコツと継続して努力をする。継続することは忍耐力と突き進む熱意が必要です。

4年に一度の審判を受けて選ばれた我々ですが、諸先輩方の努力の積み重ねで成り立っている鹿島市を、より一層発展させるのだという熱意を忘れず、市政発展のために今後も粉骨砕身取り組みたいと思っております。

今回で今の編集委員はお役目御免となり、次号からは担当が変わります。この「議会だより」が、号を重ねるごとに皆様の手に取りやすいものとなっていくことを祈念申し上げます。担当としての感謝の言葉をさせていただきます。

【編集委員】
委員長 弘貞
委員 勝屋 博紀
副委員長 徳村 日出代
委員 中村 作二
樋口 義太
顧問 松田

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

議会運営委員会 行政視察報告

令和2年1月22日(水)~24日(金)

1. 愛知県岩倉市 (人口 約48,000人/議員数15人)

- (1) 執行部への政策提言について
平成29年より提案から提言に切り替え、3つの常任委員会が所掌の部局に政策提言を行う。
○平成29年「健康(幸)都市いわくら」の宣言。平成30年、「中小企業・小規模事業振興基本条例」(案) 令和元年、投票率向上を求め、「市役所以外に高校・商業施設などに期日前投票場の設置」
- (2) 市議会サポーター制度
年齢18歳以上、市民から無作為に抽出した市民、または公募によるサポーター制度を100人以上とする。任期は1年、謝礼として3,000円相当のクオカードを渡す。
- (3) 議会報告会及び意見交換会について
議会報告会及び意見交換会は年1~2回程度、全議員参加のもと、開催されている。

2. 静岡県藤枝市 (人口 約145,800人/議員数22人)

- (1) 執行部への政策提言について
決算特別委員会で前年度30事業を抽出し評価し、重点施策を次年度予算編成に向け提言する。
- (2) 議会タウンミーティングの開催
市民の意見を議会活動に反映させるために開催。平成27年より各種団体と意見交換を行っている。
- (3) 議員用タブレット端末の活用について
平成26年8月より議会への持ち込みを可とし、平成27年11月より導入する。
[経費] ○契約は5年(60ヵ月リース) 25台(議員分22台、事務局用3台)
○費用負担 全額公費(総務活動費、自己負担なし)

3. 静岡県焼津市 (人口 139,590人/議員数21人)

- (1) 執行部への政策提言について
3つの常任委員会(総務文教・市民福祉・建設産業)が事業の見直し、市民からの要望等を調査研究し、委員会単位で提言書をまとめ、全員協議会に諮り、市長へ提言書を提出している。
- (2) 議会改革検討特別委員会の活動について
議会改革や議会活性化に関する調査研究を行うため、平成27年に特別委員会を設置し、議会報告会の在り方、議会におけるタブレットPCの利活用等について協議が行われている。

4. 静岡県熱海市 (人口 37,544人/議員数15人)

- (1) 熱海型DMO~観光とまちづくりについて
「観光地域づくり法人(DMO)」とは、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人をさす。熱海市においては、日本版DMOにはすでに該当しており、今後「観光型DMO」の構想に着手している。
- (2) 熱海リノベーションまちづくりは「現代版家守(ヤモリ)」を育成し、芯のある不動産オーナーと連携することで、まちを守り・育てる考え方。熱海市では副市長を中心に「リノベーション等に関する政策検討会」を立ち上げている。

議会運営委員会 伊東 茂・松尾勝利・徳村博紀・稲富雅和・中村一堯・杉原元博
オブザーバー(議長)角田一美



かしま議会だより 創刊100号に寄せて

市民の皆様には平素から市議会に対し、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。
平成7年8月の創刊以来、鹿島市議会における活動の経過と内容をお知らせしてまいりました「かしま議会だより」が、この度、第100号の節目を迎えました。

これまで鹿島市議会では、平成22年9月に、鹿島市議会基本条例を制定し、翌年の平成23年2月に、第1回目の議会報告会を開催しました。

また、平成25年3月には、全国で2番目となる「鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例」を議員提案により制定しました。

さらに、近年多発する災害に備えて、平成29年3月には鹿島市議会災害対策会議要綱を制定し、市議会としての災害に対する組織体制を整備しております。

これからも、議員で構成する「議会だより編集委員会」を中心に、市民の皆様により分かりやすい「かしま議会だより」をお届けできるように努めてまいりますので、今後ともなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

議長
角田 一美

副議長
松田 義太



創刊号(平成7年)



50号(平成19年)



100号(令和2年)